

特別企画

現役最年長の棋士として 通算800勝の快挙

「焼津は将棋人生の原点」

青野照市 九段

焼津市出身で将棋の現役最年長棋士(今年3月時点)の青野照市九段が、今年2月、現役最年長棋士(71歳)として公式戦通算800勝を達成し「将棋栄誉敢闘賞」を受賞されました。

青野九段は21歳でプロデビュー。50年に渡る長き棋士人生において輝かしい成績を残されています。

受賞を記念し、青野九段にこれまでの棋士人生を振り返る特別インタビューを行いました。

問合せ先 シティセールス課 ☎626-2145



一将棋との出会いは?

将棋好きの祖父の影響で、ルールは幼少の頃から知っていましたが、遊びで指していただけでした。将棋に夢中になり始めたのは小学6年生になってから。学校帰りに本屋に行き、将棋の本を読んだら面白くて、立ち読みで覚えてきたんですよ。この頃から、週末は将棋の焼津支部道場に通うようになり、向坂さんという方に連れて行ってもらった金谷の大会で、初めて師匠となる広津八段(当時)とお会いしました。

本気でプロを目指すぞと決めた時期は、他の棋士に比べ非常に遅かったです。今振り返ると恐ろしいですが、当時は全国大会などもなく、井の中の蛙でした。本来はプロを目指すレベルではなかったと思いますが、中学3年の秋にプロになりたいと決め、長谷川焼津支部長と一緒に師匠のところへ弟子入りをお願いに行くと、「進学か将棋かどちらかにしなさい」と言われ、驚いたものの即座に東京に上京し将棋に専念することを決意しました。今思えば、背水の陣としたことが良かったのか



1989年9月に行われた王座戦第1局。写真左…青野八段(当時)、写真右…中原棋聖・王座(当時) (広報やいづ 1989年10月1日号より)

もしれません。

一印象に残っている対局は?

大舞台での対局では、36歳の時に王座戦5番勝負で中原誠王座を相手に2勝1敗とし、あと1勝というところでタイトルを逃したことが印象に残っています。

一思い出深い出来事は?

33歳の時、順位戦A級(解説1)からB級1組落ちましたが、その時は1年ですぐA級に復帰できました。その後またB級1組に落ちた時、自分でも第一線で活躍するのはもう無理だと思ひ、伊東に住み、そこからは執筆や将棋の普及活動にも力を入れるようになりました。そんな期間が約10年あった後に、47歳でA級に再度返り咲いたことが、将棋人生を振り返り一番感慨深い出来事です(解説2)。

一「現役通算800勝」と「50年ものプロ人生」を振り返った感想は?

長く棋士を続けていると負けることも多くなります。負けるのは本当に辛いので、正直に言うとして現役を早く辞めたいと思うこともありました。それでも、自分自身の目標として、「通算800勝」と「現役50年」を掲げ、最後の最後までやってみようとして頑張ってきました。本当に才能がある方は、1,000勝を超えていらっしゃると思いますが、私の世代で800勝を超えた方は少ないのではないかと思います。現役50年はまだ少ないです。何とかこの2つの目標が達成でき本当にありがたいです。プロとしては将棋を始めるスタートが遅く、才能にも恵まれませんでした。あきらめが悪かったこと、帰る道がなかったことが、結果として

profile 青野照市(あおのてるいち)

焼津市出身(焼津南小・焼津中)。中学卒業後に上京し、棋士養成機関である「奨励会」に入会。1974年(21歳)にプロ棋士となる。同年の新人王で棋戦初優勝を飾り、1989年(36歳)で王座戦でタイトル戦初出場を果たす。2024年2月(71歳)、「通算800勝」を達成(史上26人目、71歳での到達は最年長)。将棋界で一流棋士の証とされる「将棋栄誉敢闘賞」を受賞。順位戦A級に通算11期在籍。日本将棋連盟では理事、常務理事、専務理事を歴任。

で良かったかもしれません。才能がなくてもこのくらいまではできるということが示されたのではないかと嬉しく思います。

一座右の銘は?

最近「どこまで行くかは才能の差、いつまでもつかは修行の差」を座右の銘にしています。タイトルを取れなかった悔しさもありますが、タイトルを獲得しても長く指せない方もいます。どんなことでも、長く続けるには、修行や努力で何とかなるということを中心に刻んでいます。

一引退後の活動は?

将棋のタイトル戦の誘致など、将棋を通して地元貢献できればと思っています。

特に子どもたちに将棋の面白さや魅力を伝えていく普及活動に努めています。

一焼津市民に一言お願いします

焼津は私の将棋の原点です。多くの皆さまに応援していただき、ここまでこられました。本当にありがとうございます。

【用語解説】

(解説1) タイトル戦の一つである「名人戦」の予選にあたる。A級は順位戦の最高ランクで、A級の優勝者が名人への挑戦者となる。

(解説2) 羽生善治氏などの若い世代の棋士たちがA級の大半を占める中で活躍は「中年の星」として話題となった。

まちなホットな話題

Photo News

-フォトニュース-

千年続く豊作祈願の舞

3/17(日)、国指定重要無形民俗文化財「藤守の田遊び」が大井八幡宮(藤守)で奉納されました。

藤守の田遊びは、千年以上藤守地区に受け継がれている民俗芸能で、未婚青年が演者となり、豊作を祈願します。

華やかな衣装を身にまとい、笛や太鼓と共に舞う幻想的な姿は、訪れた人々を魅了していました。



潮風の中、7千人が健脚を競う

4/7(日)、第39回「焼津みなとマラソン」が焼津漁港で開催され、全国から約7,000人のランナーがエントリーし、健脚を競いました。

集まったランナーたちは市内をさっそうと駆け抜け、港の潮風を受けながら、爽やかな汗を流していました。

また、第36回「大学対抗ペアマラソン大会」も同時に開催され、駅伝競技の強豪で知られる青山学院大や駒澤大など18校が出場。迫力のある走りや浴道で沸かせていました。



ペットボトルの「水平リサイクル」協定締結

焼津市と藤枝市、志太広域事務組合は、3/15(金)、使用済みペットボトルを新たなペットボトルに生まれ変わらせる、「ペットボトルの水平リサイクルに関する協定」をサントリーグループと結びました。今後、両市が集めるペットボトル年間約185トンは、同社グループの技術で全量をペットボトルとして再生することを目指します。

同日行われた締結式で中野市長は「協定は、地域の皆さんの分別意識がさらに向上する意義のあるもの」と期待を寄せました。



期待を胸に新学期がスタート

4/8(月)と9(火)、市内に13ある全ての小学校で入学式が開催されました。

東益津小で行われた入学式には、新1年生となる児童50人が出席。子どもたちは、保護者や先生、関係者に温かい拍手で迎えられ、満面の笑みを浮かべていました。

子どもたちはこれから1年間一緒に過ごすクラスメイトとの出会いと、小学校で始まる新しい生活に胸を躍らせている様子でした。

市全体では907人の新1年生が、新しい学校生活への第一歩を踏み出しました。



市民に愛され来館200万人

3/16(土)、市勤労会館「サンライフ焼津」の来館者数が200万人を超え、200万人目の来場者とともに記念セレモニーが開催されました。

200万人目の来館者は、市内在住の谷村さん。市長から記念品として焼津温泉グッズが手渡されました。

同館に最近よく来るようになったという谷村さんは、「200万人目は思いがけず驚いた。サンライフ焼津は近くて安くて気に入っている。焼津温泉のお湯も好き」と笑顔を浮かべていました。



食 黒はんぺんまつり

3/23(土)、子どもたちに焼津の特産品の黒はんぺんをPRする「黒はんぺんまつり」が、大井川児童センターとまどびあで開催されました。

まつりには、市内外の小学生約30人が参加。揚げたての黒はんぺんを食べた子どもは、「こんなにおいしい黒はんぺんは初めて食べた」と、満面の笑みを浮かべていました。

また、子どもたちは、やいづ親善大使の「しんえがおスターズ」の指導で、ご当地ソング「焼津黒はんぺん」に合わせた踊りも楽しみました。



相談室

高齢者総合相談(高齢者の生活や介護、医療など) 日時 月～金曜日(祝日を除く) 8:30～17:00 会場 各地区の地域包括支援センター(以下「包括」)

問合せ先 ●北部包括 ☎626-3219 ●中部包括 ☎626-8811 ●南部包括 ☎656-3322 ●大井川包括 ☎664-2700